

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常日ごろから、いつでも自分のケアについてふり返ることができるよう施設内に数カ所理念を掲げている。会議などで全職員で唱和をして理念の共有に努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実習生の受け入れなど、新型コロナウイルスの感染状況や予防策を講じた上で受け入れをしている。積極的に、認知症サポーター養成講座を開催し認知症の理解を深めている。	新型コロナウイルス感染症が終息したら、利用者が夏祭り等で地域との交流がまた出来るようになると良いですねとのご意見をいただいた。事業所として地域へ認知症の理解を深めてもらえるように積極的に取り組んでいる。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ね2ヶ月に1度のペースで開催している。新型コロナウイルス感染症対策の為、今年度はリモート開催の準備をしている。	リモート開催は、いいアイデアだと思います。文書だけでなく、顔を見ながら話を聞ける機会があるのはいいことだと思います。是非取り組んでもらいたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から、解らないことや質問事項などがあつた際には、直接窓口に向き私達の悩みを聞いて頂いている。今後も、各種機関と連携を密に取っていききたい。	市役所の担当課には、日頃からできるだけ足を運び直接相談したり、事業所の取組状況を伝えるなど、積極的に情報交換に努めている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から、毎日の日常のケアを振り返ることの話をしている。宮崎県グループホーム連絡協議会が開催している身体拘束等の適正化への取り組みの研修を受講し職場で、研修を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修で得た知識や資料を基に内部研修会を開催しており、全職員に内容が共有できるように取り組んでいる。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人独自の高齢者虐待マニュアルを作成し、職員がいつでも閲覧できるように努めている。定期的に内部研修にて理解を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止のための指針を定めており、不適切なケアが行われていないか、日頃からケアの振り返りを行っている。また、知見を深めるために定期的な内部研修に取り組んでいる。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、成年後見制度をご利用されている方がいる為、その時の状態に合わせて私達も学びを深めながら支援している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お問い合わせの段階から、何度も連絡や実際にお会いし話を合いを重ねている。できる限り、入所後にミスマッチがないように努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に、ご家族と連携を図り情報の共有を図っている。各担当者が、ご家族とお話したことを職員同士で共通理解をし、運営に役立てている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族等から意見を聞く機会を大事にし、ケアプランの見直しやサービスの向上に反映させるよう取り組んでいる。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必ず、施設内の各種会議に運営者が出席を行いできる限り話を聞くようにしている。現在、施設内のイベントや利用者のケアについての方針など職員からの提案を採用している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、本人の積極性と実績に合わせて一時金を支給している。できる限り、やりがいと責任感が持てるように職場の環境作りに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を導入しており、キャリアアップを目指す職員が向上心を持って職務に取り組めるよう、資格取得のための支援等を行っている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	OJTを活用しながら、職員同士助け合い日頃のケアを通して常に学びを深めている。外部・内部研修を通して学びを深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員には、各利用者の対応を事例に出しながら、日々ケアの向上に研鑽できるように努めている。また、リモート研修会等を活用して、外部研修会に参加し、学ぶ機会も確保している。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	積極的に、各種協議会などに参加し同業者の方とのつながりと交流を持ち、ネットワーク作りに努めている。連携を図り、サービスの向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に、利用者の方々の今現在出来ることわかる事を大切にしながら、出来る範囲でお手伝いをお願いしている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為に面会制限として Skype 面会を行っている。昔からのご友人とのつながりが引き続き継続できるように支援している。	今後面会制限の緩和などはあるのか？ 当施設の考え方としてはクラスターが発生した場合には、対応が困難になると想定しており、新型コロナウイルスを施設内に持ち込むリスクを最小限にすることが第一と考えている。現段階で緩和に向けての判断は難しいが、状況に合わせて柔軟に対応していきたい。		
----	------------------	--	---	--	---	--	--

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の利用者の言動から本人の思いや意向を汲み取れるように努めている。本人のお気持ちをご家族にお伝えすることもある。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者に担当職員がおり、毎月担当職員を中心にケア担当者会議を行い介護計画に対しての評価及び今現在出来る事や生活上の困りごとなどの話し合いを重ねている。その内容を踏まえた上でモニタリングを行い、介護計画の作成に役立っている。	Zoomの共有画面で実際のケアプランを確認頂き内容や留意点を説明した。個別援助計画を見てもらいながら内容を説明した。毎月、職員評価をしケア担当者会議を行い職員全体で評価している。	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、職員が評価とケア担当者会議などをされているので十分だと思います。職員さん1人で、何人の担当者を受け持っているのですか？2~3名です。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設独自の記録様式(一部センター方式を応用したもの)を使用し毎日記録しながら情報共有に役立っている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	水分・排泄・睡眠、本人の気分を時間帯で解りやすいように記録しています。以前宮崎市の研修でセンター方式を学ばせて頂いた内容をもとにモニタリング、ケアプランに反映させている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医による訪問診療、訪問看護ステーションによる24時間のオンコール体制、薬剤師等による居宅療養管理指導、歯科医による歯科往診等多職種と協力し、利用者を多種多様な専門職の力を使い支援している。	委員より:事業所の多機能化とはどうゆうことですか？ 当法人の多機能化とは、デイサービスやショートステイを一体的に行うことであると考えております。新型コロナウイルス感染症が収束したら地域にとっての多機能化として認知症デイサービスの稼働も積極的に行っていききたい。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症予防の為、外部との接触をできるだけ自粛している。通年であれば、介護実習生・ボランティアの受け入れをしているが、現在限定的な対応となっている。	地域資源ってなんですか？自治会単位・地域包括支援センター単位のことだと思います。委員より:私は、地域創成学部があります。そこでは、地域のリーダーを作ることだと思います。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、ご家族の希望を尊重しながら、かかりつけ医の受診及び往診を受けられている。その時に、適切な医療を受けられるように訪問看護と連携を図りながら、支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院の時には、医療機関に情報提供を行い、入院期間中も定期的に病院関係者と情報交換を行い退院に向けた支援ができるように努めている。日頃から医療連携室の方との挨拶を欠かさないようにしている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から、病院の医療相談室などに向いて顔見知りの関係づくりを行っています。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当事業所は、基本的に入所前に終末期ケアは実施しないことを説明し納得していただいた上で入居契約を結んでいる。また、重度化した場合には、施設、家族、医療機関で話し合いその時に必要なサービスが適切に受けられるように支援している。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員より、もともとグループホームが創設された時の認知症の方が支えあいながら生活するなどの考え方を守られているんですね。施設独自の考え方があると思います。そのままの拘った施設運営をしていただきたいと思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の状態・異常・発見時の対応などをフローチャートにし、観察ポイント、連絡方法等を見える化している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	通年であれば、職員を集め、地域消防団立会いの下、防災訓練を実施しているが、新型コロナウイルス感染症予防の為、本年度は中止している。本年度、水防法に基づく避難計画を作成、周知している。	新型コロナウイルス感染症対策の為、職員数名と消防設備会社の方と図上訓練を行っています。当施設は、宮崎市災害協力事業所に登録しています。現在は、新型コロナウイルス感染症対策の為お受け入れが難しいですが、地域の認知症介護の必要な方をお受け入れする準備があります。	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員より:図上訓練など、コロナ禍でも事業所で取り組める訓練を実施されていると思います。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの性格や生活歴等を把握し、その人の誇りを傷つけないように言葉かけや対応に配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄、入浴の時に扉をきちんと閉めてプライバシーを尊重するようにしている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活リズムやその人のペースに合わせたケアを行い、できる限り希望に沿った生活ができるように努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は毎食、手作りで提供している。利用者の好みも把握し、苦手な食材や食事形態等にも柔軟に対応している。準備や片づけは利用者で行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症対策の観点から直接的な台所仕事は現在、控えていただいている。食後の後片付けなどは利用者で行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量、水分量は毎日記録し過不足がないように支援している。利用者の好み等をご家族、ご本人より聞かせて頂き、しっかりと栄養や水分を摂って頂けるよう支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアを行っている。本人の有する能力に合わせ声掛け、仕上げ磨き、介助と使い分けて口腔内の清潔を保てるように支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口の中に残差物が残っていると誤嚥性肺炎になったりするので口腔トラブルがないように毎食後口腔ケアをさせていただいています。必要時には、ご家族の希望で、訪問歯科診療で直接歯科医師に診察もさせていただいている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の残存機能を活かし、トイレでの排泄を支援している。記録等から一人ひとりの排泄パターンを把握し、定期的に声掛けをしている。また、便秘予防として毎日ヨーグルトと牛乳を提供しており、腸内環境を整える事が出来るよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所に伴い排泄が難しくなる方が多い。医療職と連携し、内服薬の調整を行ったり、腹部マッサージや食事を工夫するなど、出来る限り自力での排泄ができるように促している。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間帯や曜日はある程度決められた日時になっているが、その中でも融通性をきかせられるようにしている。本人の羞恥心や徳劫さ等も理解しながら本人がリラックスして入浴が出来るよう入浴前の声掛けから工夫している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中活動的に過ごしていただき、夜間は安眠できるように支援している。リビングやホールにソファ一席もあり、思い思いにゆっくりといただいている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの薬事情報をいつでも閲覧できるようにしている。内服変更があった時は起こりうる副作用などを周知している。また本人の状態を記録に残し、医療機関にも情報提供ができ、適切な内服管理ができている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員2人で名前、日付、薬のダブルチェックを必ず行い、誤薬が絶対ないように心がけている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりのできる事できない事を見極めながら生活に必要なお手伝いを楽しんで取り組めるように支援している。日常における掃除・洗濯等で、力を発揮して頂くなど一人ひとりがその人らしさを引出せる様な支援をしている。	委員より:色々利用者の方と取り組まれていて素晴らしいと思います。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為、病院受診以外の外出を控えていただいている。コロナ禍が、終息した際には、以前のようにいつでもご家族と外出・外泊などが出来るように支援していきたい。	委員より:今の現状を考えれば仕方がない事だと思う。早くコロナが終息して以前のような生活に戻れるといいですね。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族からお小遣いを預かり施設で管理している。ご本人にはいつでも使えるということ話し理解して頂いている。お小遣い帳を作成し、定期的にご家族に確認して頂いている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の希望に合わせて電話取り次いだり、手紙のやり取りができるように支援している。また、毎週日曜日にオンライン通話を活用し、顔の見える会話が出来るよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	天窓から光を入れたり、室温を調整し、常に快適な生活空間を提供できるようにしている。また、季節を感じてもらえるように飾りつけなどの工夫をしている。生活音が聞こえるようにし居心地の良い空間づくりに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホールやリビングにソファを配置している。思い思いにくつろげるような空間作りを心掛けている。季節がわかるような飾りつけや利用者の作品を展示しており、生活の中で季節を感じられるようにしている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から、本人の話を傾聴している。できる限り、本人の意向に寄り添えるように日々努めている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間の本人の気持ちの動きや言葉などを職員が拾い上げることができるよう記録を工夫している。気づきを大切にしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から、利用者の顔色や表情、その時の気分などを観察しながら、いつもと様子が違う時には、医療職に相談し利用者1人1人が安心して生活が送れるように支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録や医療連携シートなどを活用して、本人の状態や異変に対して多職種と連携して取り組んでいる。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々、利用者1人1人のペースや気持ちに合わせた職員が介入を行っている。本人・ご家族より、お話を聞いた上で、生活習慣に取り入れている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用されていたお茶碗やお箸、コップなどを持参して頂いている。ご家族の写真やタンス、布団など1人1人の生活に合わせて持参して頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	枕や布団などは長年本人が使用していた物を用いる方が本人も安心して休まれることが多い。入所の段階でご家族に説明し、協力を得ている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為、病院受診以外の外出はできていない。新型コロナウイルス感染症が収束した時には、以前のような外出支援を積極的に行っていきたい。	以前は外出、外泊は自由だった。委員より:外出もいつからとか目星が立つといいですね。事業所的にも判断が難しいと思う。今後のコロナ次第だと思う。現状の対応でいいのではないか。外出してコロナを持って来ては大変。もう少し我慢じゃないでしょうか。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お仕事や生活歴などを参考にしながら日々本人が自信をもってできることを職員が探り、できる限り本人にあった生活を模索している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者1人1人の状態に合わせて介入・支援を行っている。わかること・わからないこと、出来ること・できない事を見極めながら介入している。お手伝いなどをしていただいた時には、必ず職員が感謝の気持ちを言葉で伝えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、感謝の気持ちを言葉で伝えることで、本人の自尊心を高め、毎日を生き生きと活動的に過ごしていただけるよう取り組んでいる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症対策の為、スカイプ面会をしている。今後、段階に応じて少しずつ以前のような関係性が再構築できるようにしていきたい。	委員より:現状何もできないから今後良くなることを祈っていくしかない。ここでいう地域とは? 地域の人が事業所に来ること? 今の状況ではしょうがないのではないかな。こういう福祉施設では特に。		

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>利用者の皆様がコロナ禍であっても出来る限り安心して生活が送れるように支援している。職員一丸となって利用者 1 人 1 人から笑顔を受けよう努めている。</p>	<p>委員より: 外出や面会がコロナで制限されている中で見えないストレスもあると思うが、笑顔を利用者から頂けるように取り組んでいると思います。頑張ってください。 GH 楓の職員の皆様が誇りをもって頑張ってくれていると信じております。ご利用者様、ご家族も安心されていると思いますよ。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナを持ち込まない、安心安全の生活の中で職員は限られた範囲で GH での生活がより良いものになるよう最大限取り組んでいる。</p>
----	----	---	---	--	---	---	---